

常葉学園だより

常葉学園本部院
常葉学園大学・大学院
常葉学園短期大学
常葉学園高等学校・中学校
常葉学園橘高等学校・中学校
常葉学園菊川高等学校・中学校
常葉学園大学教育学部附属小学校
常葉短大附属とこは幼稚園
常葉短大附属たばな幼稚園
常葉学園医療専門学校
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校
常葉リハビリテーション病院

第204号



菊川中・高 校舎全景

常葉学園菊川中・高等学校
校長 土屋 義人

常葉学園菊川高等学校 創立40周年
常葉学園菊川中学校 創立10周年

若き菊中・高 栄えあれ

沖縄の施政権がアメリカ合衆国から日本に返還された昭和47年に、常葉学園菊川高等学校は、普通科及び美術デザイン科をもつ常葉短大菊川高等学校として開校し、今年で創立40周年を迎えます。また、常葉学園菊川中学校は、総定員120名の併設中学校として開校し、創立10周年を迎えることとなりました。これも偏に卒業生・在校生の皆さん、保護者の方々、地域の方々、その他関係各位の皆様方のご支援・ご協力の賜物であると、心より感謝し、御礼申し上げます。

さて、30周年の記念式典が挙行されてから、この10年間に起つたエポックメイキングな出来事と言えば、平成19年、野球部の第79回選抜高校野球大会での優勝と平成20年、第90回全国高等学校野球選手権大会での準優勝が挙げられます。これらは「常葉」という学園名が「どこは」であることを全国に知らしめた「菊川」という地名をも全国に知らしめる出来事となりました。この出来事は、本学園の建学の精神である「より高きをめざして」が具現化した一つの例と言つても過言ではありません。

本校では日常の教育活動を通して「より高きをめざす生徒」の育成に力を注いでいます。この言葉には「生徒には無限大の可能性がある」というゆるぎない信念と、その可能性を引き出すために教職員が一丸となつて教育力の向上に努める」という強い決意が秘められています。今後も五十年先、百年先を見据えながら、日進月歩の時代の変化にも取り残さることなく、地域にしつかりと根を張った、若さあふれる生徒、教職員、学び舎であり続けたいと思います。若き菊中・高 栄えあれ!

最後になりましたが、今後も変わぬご指導・ご鞭撻をくださいますようお願い申し上げます。

さて、30周年の記念式典が挙行されてから、この10年間に起つたエポックメイキングな出来事と言えば、平成19年、野球部の第79回選抜高校野球大会での優勝と平成20年、第90回全国高等学校野球選手権大会での準優勝が挙げられます。これらは「常葉」という学園名が「どこは」であることを全国に知らしめた「菊川」という地名をも全国に知らしめる出来事となりました。この出来事は、本学園の建学の精神である「より高きをめざして」が具現化した一つの例と言つても過言ではありません。

本校では日常の教育活動を通して「より高きをめざす生徒」の育成に力を注いでいます。この言葉には「生徒には無限大の可能性がある」というゆるぎない信念と、その可能性を引き出すために教職員が一丸となつて教育力の向上に努める」という強い決意が秘められています。今後も五十年先、百年先を見据えながら、日進月歩の時代の変化にも取り残されることなく、地域にしつかりと根を張った、若さあふれる生徒、教職員、学び舎であり続けたいと思います。若き菊中・高 栄えあれ!

最後になりましたが、今後も変わぬご指導・ご鞭撻をくださいますようお願い申し上げます。

特集①

常葉大学3キャンパス・常葉大学短期大学部が
揃ってオープンキャンパス開催!

去る7月28日(土)と29日(日)の2日間に渡り、常葉大学として静岡キャンパス(現:常葉学園大学7/28・29)・浜松キャンパス(現:浜松大学7/28)・富士キャンパス(現:富士常葉大学7/29)において、また28日(土)には常葉大学短期大学部(現:常葉学園短期大学)において、オープンキャンパスを開催しました。

常葉大学における2日間の来場者は、3キャンパス合計で延べ3,711名という過去最高の来場者数となりました。この結果からも、大学統合・学部新設など常葉大学に対する期待の大きさがうかがえます。なお、常葉大学短期大学部の来場者数も昨年より増え、伝統ある常葉短大のブランドは今年も健在です。

各キャンパスではオープンキャンパスのプログラムとして、学部・学科紹介、体験授業、入試説明、入試対策講座、学食体験、キャンパスツアーや個別相談(入試・学生生活・就職など)、学生相談、学生パフォーマンスなどが行われました。さらに、静岡キャンパスでは新設学部となる法學部と健康科学部のプログラムも行われ、4月から就任を予定している教員による体験授業、健康科学部は午後から静岡リハビリテーション専門学校の校舎へバスで移動し、現在建設中である水落校舎の現場説明会なども行いました。

いずれのキャンパスでも、学生スタッフが大活躍しており、来場者からは、「学生スタッフが明るく挨拶をしてくれて感じが良かつた」「キャンパスで迷っていたら学生スタッフがやさしく声をかけてくれた」、「学生相談コーナーの学生スタッフが親身になつて相談に乗ってくれた」などの意見が多数寄せられました。各キャンパスの学生スタッフはボランティアで自主的に志願してくれている学生達です。みんな自分の大学・短大やキャンパスに誇りを持っています。高校生にその良さを一生懸命PRしてくれています。

やはり、オープンキャンパスでは参加者はもちろんですが、学生達が主役になるような企画やプログラムを今後も検討していきたいと思います。



静岡キャンパスの学生スタッフ



浜松キャンパスの個別相談



富士キャンパスの保育学部学生

特集②

高校野球部甲子園出場

橘高



甲子園出場を決めた選手たち(優勝報告会にて)

夏の高校野球決勝戦、4対3で静岡商業高校を破り、2年ぶり3回目の優勝を決めました。1点を先制される苦しい試合展開でしたが、7回に3得点を挙げて逆転し、粘る静商を振り切り甲子園への切符を手にしました。甲子園では開幕戦で登場し、福井県代表の福井工業大福井高校と対戦しました。試合は残念ながら負けてしましましたが、選手は最後まであきらめずプレーする姿を見せてくれました。多くの皆様の温かいご支援、本当にありがとうございました。



笑顔の表彰式(県大会)



甲子園の開会式



甲子園球場スコアボード

浜松大

★サッカー一部、藤枝MYFC
を下し天皇杯出場!!

天皇杯予選を兼ねたスルガ杯県サッカーリーグの決勝が8月26日、草薙球技場で行われ、浜松大サッカー部が7年ぶり3度目の天皇杯出場を決めました。試合は1点をリードされた後半18分、MFの大町将悟選手(ビジネスデザイン学部2年)のPKで同点に追い付き、その後延長戦を0-0で終えPK戦に準決勝では、藤枝MYFCの2人目が失敗。一方、浜松大は全員成功し、結果5-3でJFLのホンダFCを破つた。

PK戦では、藤枝MYFCの2人目が失敗。一方、浜松大は全員成功し、結果5-3でJFLのホンダFCを破つた。

天皇杯出場を果たしました。



浜大イレブン

同点ゴールをあげた大町

富士常葉大
★社会環境学部
被災地復興支援

8月18日から20日の3日間、環境防災学部及び社会環境学部の学生が、新潟県長岡市川口木沢で被災地復興支援研修を行いました。今回は住民インタビューを通して、「木沢人物マップボスター」等を作成しました。



班毎に分かれてインタビュー調査

★世界から注目される
「防災研修」

富士常葉大学では、防災研修が頻繁に行われています。6月27日は、全学部1年生を対象に「教養セミナー」科目として環境防災学の講演がありました。また、7月24日には富士市民間保育園連盟の防災対策研修を、そして7月25日は、JICA独立行政法人 国際協力機構防災プログラムを世界各国の方々と行いました。

小村隆史准教授の指導を受け、学生は受講者やスタッフとして参加し、地域別のリスク・対策など自らの未来につながる防災知識を深めました。



JICA防災プログラムの様子

浜松大

★サークル「食ポート」が
食育講座実施

7月2日、23日の2回にわたり、食事や文化部の選手を対象に食育講座を開きました。講座を担当したのは食ポートのメンバー



講演をする塩澤さん

橘高

★約30年ぶりに
生徒大会が復活

5月19日に橘高校では約30年ぶりとなる生徒大会が開催されました。生徒大会は、各専門委員会が一年間どのような活動をしていくかを全校生徒に発表し承認を得る場です。私たちは今期の生徒会スローガン「思いやり精神を創り上げよう」を実現するための最大の起爆剤としてこの会を企画しました。

本番も無事に成功し、生徒の皆さんも生徒会や委員会の活動を広く知つてもらうことができました。しかし私はこれで終わらせてはいけないと思います。

専門委員会が承認された活動を最後までやり抜き、来年以降にもつなげていくことが大切だと考えています。(生徒会)



演説をする山下真由子生徒会長（中央）

常葉
中・高

★球技大会

7月10日、高校球技大会が行われました。バレー・ボールと卓球の2種目について、学年の枠を超えて戦いました。クラスの選手を応援する力強い声援のもと、決勝戦は白熱した戦いとなり、結果9人制バレーボールでは優勝は2年2組、2位は2年3組でした。6人制バレーボールでは優勝は2年5組でした。11日行われた中学の球技大会では、ドッヂボールとバスケットボールを行いました。両競技とも優勝は3年1組、2位は3年2組となり、「さすが3年生」といった試合でした。どのクラスも球技大会を通してクラスの団結力を強めることができました。



相手に向けて素早い攻撃



ネット際での攻防

静岡
リハ専★1年生
病院・施設見学

7月中旬、本校1年生が常葉リハビリテーション病院・特別養護老人ホームとこはにて見学実習を行いました。実際にリハビリテーションが行われている様子を肌で感じることができます。日々の学習の意義が明確になつたと思いません。

また、知識だけでなく資質の面においても、

日々の自己と将来の自分

を照らし合わせる良い機会となりました。

先生のお話を耳に傾ける学生たち
特別養護老人ホームとこはにて常葉
短大★如何ですかタカラヅカ
(日本語日本文学科)

7月22日、日本語日本文学科では高校2・3年生を対象に、宝塚歌劇の観劇を軸とした授業体験バスツアーを実施しました。この企画も今年で5年目。参加者も40名となり、これまで以上に華やいだ雰囲気で東京宝塚劇場を訪れ、星組公演「ダンサセレナータ」を観ました。到着までのバス車中での教員による歴史的背景の解説とあわせ、タカラヅカの世界を存分に堪能してもらえたことでしよう。

また、往復の車中では、それ以外にも文科のミニ授業を展開。言語心理や芸術創作など、高校生に日本語と日本文学を学ぶことの楽しさと可能性の大ささを実感してもらいました。私たち教員も含め、参加者全員が新鮮で有意義な時間を過ごせたと思います。



東京宝塚劇場 小林一三像前にて

麻生・上田ペア 東海大会出場

7月28・29日に行われた静岡県中学校総体大会のバドミントン競技の部で、個人戦ダブルスで3年麻生朝香・上田帆奈美ペアがベスト4入り、東海大会に出場を果たしました。麻生さんと上田さんは、中学校に入学してからバドミントンを始め、日々高校生と一緒に練習に励み、本来バドミントン競技は県東部勢が強い中、西部勢として東海大会へ切符をつかむことができました。また、本校中学生バドミントン部は団体戦でもベスト4個人戦シングルスで1年生の高柳美月さんが5位入賞するなど、今後の活躍にも期待できる大会となりました。

東海大会出場を果たした
麻生・上田ペア

**どこは
幼** 卒園児をお招き
～やまびこ会～



思い出のDVD鑑賞

橘高 学校を花で
明るくしよう！
その後



ひまわりが見事な花を咲かせました

★3年生 リハ・パークしづおか見学

3年生を対象に、地域リハビリを推進する静岡市の施設「リハ・パークしづおか」で福祉用具見学及び体験を実施しました。「感じると」という体験学習により、この体験を踏まえ、この理解はより深まりました。実際に「触れて」「試して」見学に行きます。



社会福祉士の説明を聞く学生たち

浜松大

★北区わくわく元気プロジェクト(都田朝市・キッズオープンキャンパス)

今年度、浜松大学社会貢献・ボランティアセンターでは浜松市北区の地域力向上事業に参画し、「北区わくわく元気プロジェクト」としてさまざまなイベントを企画運営しています。7月28日には「都田朝市」を実施。地元の名産、ほおづきをはじめ旬の野菜や地場の商品を販売し、多くの方が学内での買い物を楽しみました。また、8月11日には、地域の子どもたちを対象にした「キッズオーブンキャンパス」を開催。パソコンで広告づくり、ビジネステーマ、えいご遊びや音楽、カラダづくりや都田川に生息する魚や昆虫の観察、飲み物の水質調査、どうだんごづくり、キーホルダー制作など各学科の学びを活かした17の講座を開設し、園児や小学生を中心にして、760名の方が大学での一日を楽しみました。親子で参加された方が多く、一緒に講義を受けたり、体験したり、子どもだけでなく大人も楽しんでいたり、親のコミュニケーションの場になりました。



夢のお店やさんを宣伝しよう



動いて覚える体の仕組み

学生が販売管理も実施。
地域の方との交流の場にも

**富士
常葉大**

★学長との昼食会

6月27日、学長と学生ISO会議(サークル)による昼食会が行われました。学生ISO会議からはISO(環境マネジメント)活動について実施状況や問題点等の報告がされました。学長から、更なる課題が提案され、環境方針を継続しつつ、ISOの枠にとらわれずに自由に活動していくことが確認されました。7月25日には、学友会役員と学長から、意見を学長に直接聞いていただきました。この昼食会も行われ、お弁当を囲む和やかな雰囲気の中、学生の意見を学長に直接聞いていました。



学生ISO会議部長より学長へ報告中

**常葉
短大**

**★学生会遠足
東京ディズニーリゾート
1泊2日の旅**

9月6日・7日に学生会主催の遠足が行われました。学生78名が参加し、バス2台で現地へと向かいました。1日目はディズニーランド、2日目はディズニーシー。2日目からハロウィンイベントが始まるところで振舞っていました。2日間とも楽しい時間を過ごし、学生ひとりひとりに素敵な思い出が出来たと思います。学生のうちにしか出来ないような経験だと思うので、1年生の皆さんはずひまた来年参加してみてください。



楽しい2日間

みなさんこんにちは。

私は6年前に常葉菊川高校を卒業後、愛知県の豊田自動織機に入社し、ソフトボールを続けています。今年の2月には投手として全日本の代表メンバーに選んでいただき、7月にカナダで行われた世界選手権に出場し、優勝することできました。私がこのようなチャンスをいただけたきっかけは、昨年のことです。昨年4月、所属していたチームにアメリカのエー



がんばる卒業生

菊川高

ソフトボール日本代表
栗田 美穂 選手
株豊田自動織機

スであるキャット・オスター・マン選手が新たな仲間として加わりました。チームは白星を重ねていましたが、9月からの後半戦の直前、キャットはケガをして、突然の戦線離脱——私たちのチームは、エース不在の状態で後半戦をスタートすることとなってしまったのです。そうして、私にも、今まで任せられなかった試合にも先発するチャンスがあり、チームの苦しい状況の中、自分に出来る事を必死にやってきました。昨年は、そんな大変なシーズンでしたが、最終成績は3位。

思えば「棚ぼた」のようなことばかりだったのですが、これらは、私のことを諦めずに使ってくれた監督の想い、そしてともにプレーしているチームメートの想いがつまっており、だからこそめぐつてきたチャンスのように感じています。ここまで関わって下さった方々に心から感謝しています。

多くの方々から背中を押していただき、経験できた世界大会の舞台——この経験は、私にとって大きな財産となっています。今後も精一杯頑張って行こうと思いますので、応援よろしくお願ひします。

8月21日から27日にかけて、アメリカンゼルス、サンディエゴにて海外研修を実施しました。24名の学生が参加し、人体解剖や怪我の評価、トレーニングなどの実技、アメリカの理学療法士の現状について学びました。11月に臨床評価実習を控えた3年生にとって、アメリカの技術を知る良い機会となりました。

静岡
リハ専3年生
研修旅行

講義を受ける学生たち

《教職大学院のいま》「平成24年度 教育フォーラム」(7月25日)から

常葉大



天笠先生の講演風景

本年度の本教職大学院主催による教育フォーラムがホテルアソシア静岡において、県内の教育関係者や一般の方、本学の教職員・院生・学部生の約200名の参加者の下に開催されました。基調講演では、千葉大学の天笠茂先生を講師にお迎えし、「生きる力と新学習指導要領」をテーマに概略的なお話を題題提起をいただきました。引き続き行われたパネルディスカッションでは、テーマを「改めて『生きる力』を考る」として、天笠先生に教育行政や学校関係者などを加えたパネリストによる「いま学校で育成すべき生きる力」は何か、「教師はどのような役割を担うべきか」といった課題を中心に熱心な議論が行われました。

保育学部ミュージカル発表会



『金のがちょう』のクライマックスシーンを踊る学生

保育学部3年生全員によるミュージカル発表会が、7月18日富士市ロゼシアターにて開催されました。学生たちは6グループに分かれ「ピノキオ」「シンデレラ」「竹取物語」などをオリジナルシーンも加えながら熱演し、市内の保育園より招いた園児から大きな拍手とたくさんの笑顔をもらいました。

富士
常葉大

連覇を達成した萩田さん(右)と3位入賞の中原さん(左)

日本学生選手権連覇達成!

9月8日、9日の2日間に渡り日本学生選手権飛込競技大会が静岡県富士市水泳場で開催されました。昨年に続き男子高飛込で連覇を狙う萩田拓馬さん(環境防災学部4年)は大きなブレッシャーの中、板飛込で準優勝、高飛込では最終種目で逆転し連覇を達成しました。中原敬二さん(社会環境学部3年)も板飛込で5位入賞、高飛込では3位入賞を果たし萩田さんとともに表彰台に昇りました。女子高飛込では、浅井里絵さん(保育学部2年)が4位入賞を果たしました。

浜松大

新東名浜松サービスエリアで防犯パトロール開始

6月7日、ボランティアサークルThunderBirdsの学生が、新東名浜松サービスエリアでの防犯パトロールを開始しました。これは北区細江署との防犯連携事業のひとつで、サービスエリアの利用客に対する啓発品を配りながら、車上狙いや置引き被害にあわないよう車の施錠を呼びかけました。現在も5人1組の4チームが週1回ずつ、授業の空き時間などを使って活動しています。この事業は、はましん地域振興財団から助成を受けています。

常葉
短大

橘香祭



昨年の写真『みんなで楽しもう！橘香祭！』

富士
常葉大総合経営学部
フレッシャーズ
研修セミナー

8月8日、総合経営学部の1年生対象に「フレッシャーズ研修セミナー」を実施しました。初めにPOLA本社商品企画部北原武雄氏の「事業展開と経営戦略」の講義を受け、その後バスにてポーラ化成工業袋井工場へ移動し、工場長によるミニ講義と社内見学をしました。先進的な企業の実態を学ぶ貴重な1日となりました。



ポーラ化成工業袋井工場での講義



パトロールを実施するメンバー



中国の伝統楽器を演奏する中国芸術団員たち

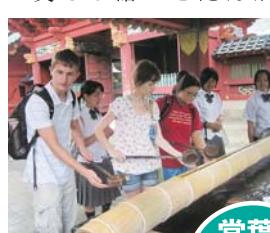


全校合唱「赤い屋根の家」に聴き入る中国芸術団員たち

たちばな
幼お泊り会
はじまりの会

中国の文海実験学校芸術団と音楽交流

7月10日、静岡県と浙江省の友好提携30周年記念事業の一環で、浙江省杭州市の文海実験学校芸術団との音楽交流会が本校講堂にて行われました。芸術団員約40名は、本校児童とほぼ同年代(10才から12才)であり、本校児童にとってはオーケストラ学習への意欲を高める良い機会となりました。交流会では、芸術団員が、楽器演奏、独唱、踊りと、多彩なパフォーマンスを披露しました。



浅間神社にて

常葉
中・高

橘小

オマハから高校生来校！

7月9日、静岡市と姉妹都市提携をしているアメリカのネブラスカ州オマハ市から、高校生21名が来校し、13日まで本校生徒の家庭にホームステイしました。書道・美術・音楽の授業を体験したり、市民内観光をしたりと充実した日々を過ごしました。中学生との交流会では、折り紙やゲームを通して生徒が聞きたいことがたくさんあるのに英語で何と言ったいうもどかしさを感じ、コミュニケーションでの英語の必要性を感じていました。お互いの交流を深めることができ、いい異文化交流となりました。

